

テラビットルータに向けた高速信号処理用光モジュールの開発

民間基盤技術研究促進制度平成14年度採択案件

受託者	日本電気(株)
研究開発期間	H14年10月～H17年3月(2年6ヶ月)
研究代表者:	藤原 雅彦 日本電気(株) ネットワーキング研究所統括マネージャ
概要	<p>現在のルータの処理速度限界を打破するため、1チャンネルあたり10Gbpsのポート速度の光I/Oをパッケージに内蔵した光I/O型32ch×32chスイッチLSIモジュール、ルータ装置と外部を接続する為の100Gbpsクラス小型光インターフェースに適用する1.3μm帯多波長VCSEL(Vertical Cavity Surface Emitting Laser Diode: 面発光型半導体レーザー)の実現を目標とした研究開発を行う。</p> <p>【サブテーマ】</p> <p>光I/O内蔵型スイッチLSIモジュールの研究開発 1.3μm帯多波長VCSELの研究開発</p>

**本提案: 光技術により装置、スイッチLSI間接続のボトルネックを解消
テラビット級ルータを1シェルフで実現→大容量外ロネットワーク実現**

